

令和元年度学校アンケート結果

日頃は、本校教育にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。本年度の児童・保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。結果と次年度への改善策をご報告します。

(1) 基本的な生活習慣の育成

幼小中一貫教育で『人のために行動し、感謝の気持ちを伝えよう』を目標に、それぞれの校園で発達段階に合わせた取組を行ってきた。児童⑮「学級・学校の一員として考えて行動する」では、83.5%が「あてはまる」と回答しており、昨年度の75.1%より大きく向上している。次の人のためにスリッパをそろえたり、困っている人を助けたりする行動が多く見られた。しかし、児童⑯のあいさつは、「あてはまる」が73.4%と昨年度より低くなっている。あいさつ運動の取り組みも続けていく必要がある。児童⑳「学校のきまりを守る」は「あてはまる」が88.1%と昨年度を5ポイント上回った。保護者⑤の「学習規律への取組」でも75.7%が「あてはまる」と答え昨年度を若干上回ったことは、本年度の課題の一つであった「授業中の学習態度や学習規律の改善」が一定の評価を得たと考えられる。今後も学び合う授業づくりと家庭との協力関係を築いていきたい。

児童④の「進んで運動し、体力作りをする」は、「あてはまる」が75%と低くなっているが、寒さの中でも外遊びをする児童は多い。縦割り班で朝の時間に遊ぶ「元気っ子タイム」や教室遊びを好む児童への外遊びの奨励などを行っていく。

(2) 基本的な学習習慣の育成と学力の向上

4月に行われた6年生「全国学力・学習状況調査」と4・5年生「県ステップアップテスト」では、それぞれの学年で県平均より低い結果となった。そのため、視覚支援等の誰もがわかりやすい授業を工夫し実践してきた。4月当初に比べると、落ち着いた環境で見通しをもって学習に取り組む姿が増えている。しかし、児童②、保護者③「漢字や計算の力がつく・学力定着への取組」では、「あてはまる」は児童76.7%、保護者77.9%で、昨年度より低い結果となっている。前述の「学習態度・学習規律」の改善やわかりやすい授業の工夫が学力定着に十分結びついていないのは、今後の課題と考える。引き続き、学習の妨げになる持ち物をなくしたり、漢字や計算の基礎的な力を高める学習を増やしたりして、学力向上を目指していく。

学力向上策として読書の習慣化を目指した「目指せ5000冊運動」を進め、昨年度を大きく上回る図書貸出数1万冊間近となっている。しかし、児童⑳、保護者㉑「本や新聞などをよく読んでいる」では、55.5%、58.2%と低く、読書の習慣化は引き続きの課題となる。

(3) 人権意識と自己有用感の育成

児童㉒「いじめはいけないことだ」は、「あてはまる」は91.2%と高く、特に「よくあてはまる」6.8ポイントの高まりは人権学習の成果と考えられる。保護者㉒「いじめ問題への対応」も「あてはまる」が70.3%と昨年度より向上した。前述した「学校のきまりを守る」児童の増加も人権意識の高まりとつながっていると考える。今後も、人権課題を学んでいくことで、人権意識の向上を図りたい。自己肯定感については、児童⑨「自分にはよいところがある」が、75.7%と昨年より低くなっている。人権学習で自分のいい所を見つけたり、ありがとうカードで感謝の気持ちを伝えたりしてきたが、より一層の工夫・改善が必要である。児童⑩「先生はがんばったとき褒めてくれる」や保護者⑧「よいことをしたとき積極的に褒める」数値を高めることも大切である。また、幼小中一貫教育の取組や交流により、「人の役に立つ喜び」が体験できる機会をもたせたい。

(4) 一人一人に応じた指導・支援

児童①「授業をわかりやすく教えてくれる」では、「あてはまる」は94.5%と昨年度より向上している。特に「よくあてはまる」が5ポイント以上高まった。また、児童㉓「授業中、先生は1人より2人以上がいい」の「あてはまる」が79.6%と大きく改善した。これは、教員間での相談を多くし、複数での指導を工夫した成果と考えられる。しかし、児童⑱「相談にのってくれる」では73.9%と低く、保護者㉒「問題に素早く対応してくれる」は、70.3%と若干の増加に留まった。今後も家庭との連絡を密にして連携を深めていきたい。いじめ対策は、年3回(7月・9月・12月)の「いじめ調査」を行い、聞き取り・指導・連絡の対応をとってきた。これからも素早い対応を心がける。また、一人一人の特性に合わせて、教育相談や個別の指導等の支援体制を整えている。

(5) その他

保護者㉑「学校からの情報発信」が、72.4%と9ポイント向上した。家庭との連絡や学校だよりやHPでの発信等を進めてきた成果と考えている。まだ十分な数値ではないが、今後も幼稚園・中学校との連携を継続しながら積極的に情報発信し、地域のよさを伝える教育を進めていく。

※ 添付の集計グラフは、HP(ホームページ)の「学校評価」にも掲載します。

※ 添付の集計グラフは，HP（ホームページ）の「学校評価」にも掲載します。